



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キングジム  
コード番号 7962 URL <http://www.kingjim.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原田 伸一

四半期報告書提出予定日 平成27年2月2日 配当支払開始予定日

TEL 03-3864-5883

平成27年3月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年6月21日～平成26年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	14,908	13.1	165	24.2	259	11.0	131	△9.7
26年6月期第2四半期	13,185	0.5	133	—	233	—	145	59.3

(注)包括利益 27年6月期第2四半期 495百万円 (116.7%) 26年6月期第2四半期 228百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	4.63	4.63
26年6月期第2四半期	5.27	5.26

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第2四半期	29,685	18,935	62.7	655.01
26年6月期	28,268	18,308	63.8	635.06

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 18,602百万円 26年6月期 18,033百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年6月期	—	7.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年6月21日～平成27年6月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	10.8	1,150	3.3	1,200	0.4	700	△19.4	24.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	32,459,692 株	26年6月期	32,459,692 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	4,058,921 株	26年6月期	4,063,297 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	28,398,447 株	26年6月期2Q	27,672,032 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果を背景に、企業の収益改善や株式相場の上昇など景気の回復基調は継続しながらも、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や、円安に伴う物価の上昇が懸念され、景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは新たな需要を獲得するべく、引き続き新規概念商品を中心とした新製品の投入による積極的な販売活動を展開いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高 149億 849万円（前年同期比 13.1%増）、営業利益 1億 6,583万円（前年同期比 24.2%増）、経常利益 2億 5,934万円（前年同期比 11.0%増）、四半期純利益 1億 3,156万円（前年同期比 9.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「ライフスタイル雑貨事業」を「インテリアライフスタイル事業」に名称変更いたしました。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。

#### ① 文具事務用品事業

電子製品におきましては、手軽に手帳用のシールが作成できるスケジュールシールプリンター「ひより」を発売し、ラベルライター市場に新たな用途提案を積極的に行ってまいりました。デジタル文具では、名刺データをダイアル操作で登録・検索できるデジタル名刺ホルダー「メックル」、大量の名刺をまとめてデータ化し管理できるデジタル名刺ボックス「ビズレージ」の2機種を、デジタル名刺整理用品として発売いたしました。また、スマートフォンのタッチパネル用コーティング剤「iガラコ」が、発表以来大きな反響をいただいております。オフィス環境改善用品では、災害時等での一時滞在の際に便利な「着る布団&エアーマット」を発売いたしました。また、昨年5月に発売してご好評をいただいている、微弱な静電気でメモを吸着させる「ラッキー」に壁掛けタイプを追加し、数多くのお客様からご支持をいただいております。

ステーションナリーにおきましては、表紙がパタンと360°折り返せるクリアファイル「パタント」や、よりお買い求めやすい「フラットファイルクイックイン（PP）GX」を発売した他、上質感と機能性でご好評をいただいております。「レザフェスシリーズ」に、デスクマット等のラインアップの拡充を図ってまいりました。

この結果、売上高は、112億 9,436万円（前年同期比 1.9%増）、営業利益は、829万円（前年同期は 1,109万円の営業損失）となりました。

#### ② インテリアライフスタイル事業

前第3四半期連結会計期間末より新たに連結対象となった㈱ぼん家具では、ネット販売でのセールの実施や、機能性寝具や加湿器などの季節物商材の特価セール等を行い、拡販に努めてまいりました。㈱アスカ商会では、近年の室内装飾トレンドの変化に即した、高品質なアーティフィシャル・フラワーを提案してまいりました。㈱ラドンナでは、新感覚バスグッズ「プロジェクション バスアロマ YURA」を、㈱Gクラッセでは、主力のマジックボックスのチャネル開拓を行い、拡販に努めてまいりました。

この結果、売上高は、36億 1,412万円（前年同期比 72.2%増）、営業利益は、1億 5,478万円（前年同期比 14.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して 14億 1,685万円増加し、296億 8,514万円となりました。これは主に、需要期に向けた生産の増加に伴う商品及び製品の増加や退職給付に係る資産の増加等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末と比較して 7億 9,043万円増加し、107億 4,995万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。純資産合計は、前連結会計年度末と比較して 6億 2,641万円増加し、189億 3,519万円となりました。これは主に、第66期期末配当金の支払いによる利益剰余金の減少等がある一方、改正退職給付会計基準等の適用に伴う利益剰余金の期首調整やその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定等によるその他の包括利益累計額の増加があったことによるものであります。

（キャッシュ・フロー状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3億2,459万円減少し、38億4,536万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、9億6,280万円（前年同期は5億5,259万円の資金使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億5,890万円や減価償却費3億1,232万円があった一方、たな卸資産の増加8億4,726万円や法人税等の支払額6億977万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億7,895万円（前年同期は1,243万円の資金獲得）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億963万円があった一方、有形及び無形固定資産の取得による支出2億4,320万円や定期預金の預入による支出1億3,739万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、7億3,042万円（前年同期比52.8%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出4億7,300万円や配当金の支払いによる支出1億9,796万円があった一方、短期借入金の純増額14億円等があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月28日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付に係る資産が484,478千円、利益剰余金が311,810千円それぞれ増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,061千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,393,912	3,997,493
受取手形及び売掛金	4,805,090	4,981,347
有価証券	10,478	10,480
商品及び製品	5,503,394	6,513,327
仕掛品	419,954	425,038
原材料及び貯蔵品	1,283,613	1,233,462
繰延税金資産	257,968	263,738
その他	946,035	1,015,521
貸倒引当金	△9,932	△10,536
流動資産合計	17,610,515	18,429,874
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	6,878,174	6,972,913
減価償却累計額	△4,157,318	△4,275,584
建物及び構築物（純額）	2,720,855	2,697,329
機械装置及び運搬具	2,689,236	2,962,612
減価償却累計額	△1,926,944	△2,191,859
機械装置及び運搬具（純額）	762,291	770,752
土地	2,071,113	2,071,113
建設仮勘定	22,352	28,900
その他	2,504,755	2,607,783
減価償却累計額	△2,286,515	△2,335,766
その他（純額）	218,239	272,016
有形固定資産合計	5,794,852	5,840,112
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,004,435	892,608
その他	404,334	402,822
無形固定資産合計	1,408,769	1,295,430
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,780,669	1,937,568
退職給付に係る資産	550,843	1,060,459
繰延税金資産	48,419	50,876
保険積立金	216,174	216,191
その他	1,034,274	1,030,885
貸倒引当金	△176,221	△176,250
投資その他の資産合計	3,454,158	4,119,730
固定資産合計	10,657,779	11,255,273
資産合計	28,268,295	29,685,148

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年6月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,019,320	3,063,893
短期借入金	420,000	1,820,000
1年内返済予定の長期借入金	946,000	946,000
未払法人税等	435,713	54,448
未払金	595,781	629,302
役員賞与引当金	12,787	4,855
その他	816,443	786,163
流動負債合計	6,246,046	7,304,662
固定負債		
長期借入金	2,944,000	2,471,000
繰延税金負債	246,438	477,489
役員退職慰労引当金	2,755	—
退職給付に係る負債	170,760	188,217
資産除去債務	16,501	16,652
その他	333,018	291,932
固定負債合計	3,713,473	3,445,291
負債合計	9,959,520	10,749,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,978,690	1,978,690
資本剰余金	2,514,344	2,513,096
利益剰余金	17,142,188	17,386,791
自己株式	△3,590,842	△3,586,957
株主資本合計	18,044,381	18,291,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,198	301,446
繰延ヘッジ損益	△656	3,103
為替換算調整勘定	△360,554	△116,832
退職給付に係る調整累計額	149,954	123,475
その他の包括利益累計額合計	△11,056	311,192
新株予約権	17,979	33,162
少数株主持分	257,470	299,219
純資産合計	18,308,774	18,935,194
負債純資産合計	28,268,295	29,685,148

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年6月21日 至平成25年12月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年6月21日 至平成26年12月20日）
売上高	13,185,754	14,908,492
売上原価	8,390,308	9,400,979
売上総利益	4,795,446	5,507,513
販売費及び一般管理費	4,661,940	5,341,678
営業利益	133,506	165,834
営業外収益		
受取利息	7,154	5,853
受取配当金	25,871	29,536
為替差益	55,443	60,907
屑売却益	30,229	27,830
その他	19,752	15,753
営業外収益合計	138,452	139,881
営業外費用		
支払利息	17,315	24,655
減価償却費	11,192	9,055
その他	9,850	12,656
営業外費用合計	38,359	46,367
経常利益	233,599	259,348
特別利益		
固定資産売却益	76	302
特別利益合計	76	302
特別損失		
固定資産除売却損	3,551	748
特別損失合計	3,551	748
税金等調整前四半期純利益	230,125	258,902
法人税、住民税及び事業税	62,069	105,835
法人税等調整額	12,094	9,215
法人税等合計	74,163	115,050
少数株主損益調整前四半期純利益	155,961	143,852
少数株主利益	10,256	12,284
四半期純利益	145,705	131,567



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年6月21日 至 平成25年12月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年6月21日 至 平成26年12月20日）
少数株主損益調整前四半期純利益	155,961	143,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133,730	101,247
繰延ヘッジ損益	5,228	3,759
為替換算調整勘定	△66,184	273,186
退職給付に係る調整額	—	△26,479
その他の包括利益合計	72,774	351,713
四半期包括利益	228,735	495,565
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,479	453,816
少数株主に係る四半期包括利益	256	41,749

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年6月21日 至 平成25年12月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年6月21日 至 平成26年12月20日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	230,125	258,902
減価償却費	301,547	312,322
のれん償却額	16,424	111,826
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,712	598
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△74,698	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	—	7,298
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	—	△66,280
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△244,353	△2,755
受取利息及び受取配当金	△33,026	△35,389
支払利息	17,315	24,655
為替差損益（△は益）	△52,580	△91,531
固定資産除売却損益（△は益）	3,474	445
売上債権の増減額（△は増加）	△179,674	△128,019
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,121,712	△847,261
その他の資産の増減額（△は増加）	△66,508	41,615
仕入債務の増減額（△は減少）	449,879	28,294
未収消費税等の増減額（△は増加）	△20,504	44,498
未払消費税等の増減額（△は減少）	△38,465	△75,170
その他の負債の増減額（△は減少）	318,812	25,021
その他	7,252	16,985
小計	△488,406	△373,942
利息及び配当金の受取額	31,703	35,413
利息の支払額	△18,432	△26,628
法人税等の支払額	△88,548	△609,770
法人税等の還付額	11,088	12,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	△552,595	△962,808
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△235,045	△243,205
有形及び無形固定資産の売却による収入	188	303
敷金及び保証金の差入による支出	△10,963	△10,497
敷金及び保証金の回収による収入	10,299	4,267
事業保険の満期による収入	117,816	—
定期預金の預入による支出	△9,457	△137,390
定期預金の払戻による収入	160,000	209,634
その他	△20,407	△2,064
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,430	△178,953

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成25年6月21日 至 平成25年12月20日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成26年6月21日 至 平成26年12月20日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,040,000	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△300,000	△473,000
自己株式の取得による支出	△165	△118
配当金の支払額	△193,178	△197,965
その他	△674	1,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,545,982	730,428
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,198	86,738
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,001,618	△324,594
現金及び現金同等物の期首残高	3,114,633	4,169,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,116,251	3,845,365

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年6月21日 至平成25年12月20日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,087,040	2,098,714	13,185,754	—	13,185,754
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,914	67,388	104,303	(104,303)	—
計	11,123,955	2,166,102	13,290,057	(104,303)	13,185,754
セグメント利益又は損失（△）	△11,091	135,811	124,719	8,786	133,506

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 8,786千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年6月21日 至平成26年12月20日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	文具事務用品 事業	インテリア ライフスタイル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,294,364	3,614,127	14,908,492	—	14,908,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	42,331	76,549	118,880	(118,880)	—
計	11,336,695	3,690,677	15,027,373	(118,880)	14,908,492
セグメント利益	8,290	154,789	163,080	2,754	165,834

- (注) 1. セグメント利益の調整額 2,754千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「ライフスタイル雑貨事業」を「インテリアライフスタイル事業」に名称変更いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称を用いております。当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。